

全国月間火山概況（平成 24 年 11 月）

霧島山（新燃岳）では、今期間、噴火は発生せず、火山活動に特段の変化は見られませんでした。新燃岳直下の火山性地震は 8 月 30 日に新燃岳南西 1 km 付近で一時的に増加した後、それまでよりわずかに多い状態になっています。新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震がわずかながらも続いていることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

桜島では、爆発的噴火を含む活発な噴火活動が継続しました。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、やや多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

十勝岳では、12 月 2 日昼前から夜にかけて火山性地震が一時的に増加しましたが、その後、地震活動は低下しています。火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、2006 年からみられている 62-2 火口直下浅部の膨張を示す地殻変動は現在も続いているので、火山活動の推移に注意してください。噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）が継続しています。

薩摩硫黄島では、2003 年頃から活発な噴煙活動が続いていましたが、2009 年中頃からやや低下した状態で経過しています。火山性地震も 2009 年 3 月頃から増加し多い状態で経過していましたが、2010 年 9 月以降少なくなっています。17 日から 20 日にかけて実施した現地調査では、前回（2012 年 7 月）と同様に、噴気地帯等に高温域が認められる程度で、特段の変化は認められませんでした。これらのことから、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、29 日 11 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）へ引き下げました。なお、火口付近では火山ガスに注意してください。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

12 月 9 日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表 1 のとおりです。

表 1 12 月 9 日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	霧島山（新燃岳）、桜島
	レベル 2（火口周辺規制）	三宅島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新湯焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島、口永良部島、
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆島、嶺南岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、折尾焼山、折尾阿登佐岳、ペルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。



図1 噴火警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

十勝岳【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

大正火口の噴気の高さは火口上100m以下で、2010年5月頃から噴気量がやや多い状態が続いています。62-2火口の噴煙の高さは火口縁上100m以下で、噴煙活動は低調に経過しました。

11月の火山性地震は少なく、地震活動は概ね低調に経過しました。12月2日(期間外)昼前から夜にかけてグラウンド火口の東側の深さ1km程度を震源とする地震が増加しました。同日13時37分と13時49分には、それぞれマグニチュード2.8と2.0の地震が発生しました。美瑛町からの通報及び気象台の聞き取り調査によると、13時37分の地震で山麓の白金温泉地区と十勝岳温泉地区、13時49分の地震では白金温泉地区で、それぞれ小さな揺れを感じました。十勝岳で発生した地震により、周辺で揺れを感じたのは、2000年6月25日以来です。2日夜には地震活動は低下しました。火山性微動は観測されていません。

GPS連続観測では、2006年以降、前十勝観測点において62-2火口浅部の膨張を示すと考えられる変動が認められていますが、今年4月頃からその変動は鈍化してきている可能性があります。なお、より深部の地殻変動を示す変化はありません。

12月2日(期間外)昼前から夜にかけて火山性地震が一時的に増加しましたが、その後、地震活動は低下しています。地震活動、噴煙活動ともに概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、2006年以降、62-2火口直下浅部の膨張を示す地殻変動が続いていますので、火山活動の推移に注意してください。

三宅島【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

山頂火口からの噴煙高度は、火口縁上概ね100～300mで経過しました。三宅村によると、山麓では時々やや高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

全磁力連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化は見られませんでした。

火山性地震はやや少ない状態です。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特に変化はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。

GPS 連続観測によると、2000 年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています。島の南北を挟む基線では、2006 年頃から深部の膨張を示す伸びの傾向がみられています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報(火口周辺危険) 及び火山現象に関する海上警報〕

阿蘇台東（阿蘇台陥没孔の東北東約 900m）に設置してある遠望カメラでは、島西部の阿蘇台陥没孔からの噴気は少ない状態で、噴気の高さは 0～100m で経過しました。また、島西部の井戸ヶ浜では、噴気は認められませんでした。

地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は今期間、27 日 20 時 22 分頃に継続時間が 1 分 10 秒程度の短いものを 1 回観測しました。火山性微動を観測した時間帯に、火山性地震の増加や空振、表面現象は認められませんでした。硫黄島で火山性微動（調和型、単色型除く）を観測したのは、2012 年 7 月 23 日以来です。国土地理院の地殻変動観測では、今期間、地殻変動はほぼ停滞しています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、2012 年 4 月末に新たに噴気が確認された島北部や変色水がみられた北東沖、従来から小規模な噴火がみられていた島東部の海岸付近、島西部（井戸ヶ浜等）及び南東沖（翁浜沖）では噴火に対する警戒が必要です。

福德岡ノ場〔噴火警報(周辺海域) 及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されており、2010 年 2 月 3 日には小規模な海底噴火が発生しています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報(噴火警戒レベル 3、入山規制)〕

新燃岳では、今期間、噴火は発生しませんでした（爆発的噴火は 2011 年 3 月 2 日、噴火は 2011 年 9 月 8 日以降発生していません）。噴煙活動に特段の変化はなく、白色の噴煙が火口縁上概ね 50m 以下で経過しました。

火山性地震の月回数は 40 回と、6～8 月に比べて 9 月以降わずかに多い状態が続いています。震源は新燃岳の北東に 4 個決定しました。その他のほとんどの地震の震源は火口直下と推定されます。火山性微動は観測されませんでした（10 月：なし）。

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びの傾向は 2011 年 12 月以降鈍化・停滞しています。「えびの」－「牧園」、「牧園」－「都城 2」の基線で、5 月頃からわずかに縮みの傾向が見られていましたが、9 月頃から停滞しています。

8 日に、海上自衛隊第 72 航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て上空からの調査を実施しました。火口内に蓄積された溶岩の形状や火口内の噴気の状態には、変化は認められませんでした。火口内に蓄積された溶岩の北側から東側及び南側に複数の噴気孔がみられ、火口内にとどまる程度の弱い白色の噴煙が主に北側と東側から上がっていました。また、溶岩上には前回（9 月 14 日）の調査時と同様に複数の水たまりが確認されました。赤外熱映像装置による観測では、噴気がみられる部分や火口内に蓄積された溶岩の縁辺部（特に南側）が比較的高温で、前回と比較して変化は認められませんでした。西側斜面の割れ目では、噴気は確認できませんでしたが、赤外熱映像装置による観測では、前回の観測と同様にやや温度の高い部分が認められました。

新燃岳の北西数 km の地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震がわずかながらも続いていることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。新燃岳火口から概ね 2 km の

範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。噴火時には、風下側で火山灰だけではなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。噴火警報や霧島山上空の風情報に留意してください。降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に留意してください。

桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】

昭和火口では、活発な噴火活動が継続しました。噴火の回数は71回（10月：61回）で、そのうち爆発的噴火の回数は55回（10月：35回）でした。また、大きな噴石が3合目（昭和火口から1,300m～1,800m）まで達した爆発的噴火は、7回（10月：2回）発生しました。30日05時58分の爆発的噴火ではやや多量の噴煙が火口縁上2,600mまで上がりました。また、30日14時29分の噴火に伴いごく小規模な火砕流が発生し、東へ約500m流下しました。火砕流の発生は、10月7日以来です。同火口では、夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映を11～13日、26日、27日に観測しました。南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が時々発生しました。

火山性地震の月回数は635回と10月（736回）に比べやや減少しました。震源は南岳直下の海拔下2km付近でした。噴火に伴う火山性微動が発生しており、月回数は363回（10月：500回）でした。継続時間の月合計は60時間58分で、10月（85時間57分）に比べ減少しました。

9日、13日、19日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は1日あたり2,100～2,200トン（10月：2,100～5,700トン）と多い状態で推移しました。

有村観測坑道の水管傾斜計（大隅河川国道事務所設置）では、2012年2月頃から山体の変動は停滞していましたが、8月頃からわずかに沈降し、11月に入り再び停滞しています。GPS連続観測では2011年9月頃から桜島島内のわずかな伸びの傾向が続いていましたが、2012年2月頃から鈍化し、6月頃から停滞しています。また、国土地理院の地殻変動観測結果によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）深部の膨張による長期的な伸びの傾向がみられます。

鹿児島地方気象台での観測では、降灰の月合計は137g/m²（降灰日数7日）でした。鹿児島県が実施している降灰の観測データから推定した火山灰の10月の総噴出量は約30万トンでした。今年1月から10月までの総噴出量は約560万トンで、2006年の昭和火口噴火再開以降の年別総噴出量の中で、もっとも多くなっています（これまでの最大は2010年の約510万トン）。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル1、平常）】←29日に噴火警戒レベル2（火口周辺規制）から引き下げ

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は、2009年中頃からやや低下した状態で経過しており、今期間は白色の噴煙が最高で火口縁上400mまで上がりました。同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を、6日、22～23日及び23～24日に観測しました。17日から20日にかけて現地調査を実施しました。前回の調査（2012年7月）と比較して、硫黄岳北斜面から西斜面にかけての噴気の状態に特段の変化はなく、引き続きところどころでごく弱い白色の噴気が上がっていました。赤外熱映像装置による観測では、前回の調査（2012年7月）と比べ、硫黄岳北斜面から西斜面にかけての地表面温度分布に特段の変化は認められませんでした。25日に第十管区海上保安本部が実施した上空からの観測によると、従来と同様に東部の海岸を中心に褐色～緑色の変色水が見られました。また、硫黄岳の東側斜面、山頂火口から噴気が見られました。

火山性地震の月回数は168回（10月：219回）と、2010年9月以降引き続き少ない状態で経過しています。火山性微動は観測されませんでした（10月：なし）。

17日から20日にかけて実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は1日あたり400トンで、前回（2012年7月：500トン/日）と同様にやや多い状態でした。

GPS連続観測では、火山活動に伴う特段の変化は認められませんでした。

薩摩硫黄島では、活発な噴煙活動が続いていましたが、2009年中頃からやや低下した状態で経過しています。火山性地震も2009年3月頃から増加し多い状態で経過していましたが、2010年9月以降少なくなっています。17日から20日にかけて実施した現地調査では、前回（2012年7月）と同様に、噴気地帯等に高温域が認められる程度で、特段の変化は認められませんでした。以上のことから、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、29日11時00分に噴火予報を発表し、噴火

警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）へ引き下げました。火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、硫黄岳火口では噴煙活動が続いており、火口内では火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

御岳火口では、爆発的噴火は発生しませんでした。ごく小規模な噴火が断続的に発生しました。噴煙の最高高度は火口縁上 500m（10 月：最高 700m）でした。同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を時々観測しました。9 日に実施した現地調査では、御岳火口から南西約 2 km 付近でごく少量の降灰を確認しました。また、十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、25 日に島内の集落（御岳の南南西約 4 km）で降灰が確認されました。文化火口において 8 日に実施した現地調査では前回（2011 年 11 月）と比較して火口内の形状等に特段の変化はありませんでした。赤外熱映像装置による観測でも地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。

火山性地震は少ない状態で経過しました。火山性微動は 9 月 28 日からほぼ連続しており、なかでも 11 月は常時発生していました。火山性微動の継続時間の月合計は 720 時間（10 月：705 時間 19 分）でした。

御岳火口では、長期にわたり噴火を繰り返しています。今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は活火山総覧（第 3 版）による）

資料１ 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成 24 年 12 月 9 日現在）

（１）主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 9 月29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17 日 噴火予報（平常） 2008年11月17 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 4 月10 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年12月16 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年10月27 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方	日光白根山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009年 4 月10 日 噴火予報（レベル 1、平常）切替
	浅間山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年 4 月15 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	新潟焼山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	焼岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	新島	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年３月31日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月１日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月１日 噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	九重山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	阿蘇山	噴火予報 （レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常） 2011年５月16日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2011年６月20日 噴火予報（レベル１、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報 （レベル３、入山規制）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年８月22日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル１、平常） 2010年３月30日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年４月16日 噴火予報（レベル１、平常） 2010年５月６日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2011年１月26日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2011年１月31日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2011年２月１日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2011年３月22日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2012年６月26日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	桜島	火口周辺警報 （レベル３、入山規制）	2007年12月１日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年２月３日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年２月20日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年４月８日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年７月14日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年７月28日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年８月28日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年２月２日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年２月19日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年３月２日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年３月10日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2009年４月24日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年７月19日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2010年９月30日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2012年３月12日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2012年３月21日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替
	薩摩硫黄島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2012年11月29日 噴火予報（レベル１、平常）
	口永良部島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年１月25日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年９月４日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年３月18日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年８月４日 噴火予報（レベル１、平常） 2009年９月27日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル１、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2012年１月20日 噴火予報（レベル１、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の噴火警報・噴火予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

(2) その他の活火山

以下の活火山（＊印を除く）では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。また、＊印の活火山では、活火山として選定された平成 23 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンドナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山